

寄付 お願い

劇団笠戸丸ブラジル公演

「ボクノフルサト。」

(ブラジル移民100周年記念事業・くまもと)

「101年目からの未来をめぐって」

ブラジルへ移住が始まって2008年で百年を迎えました。これを記念して、熊本でも「移民百周年」実行委員会が結成され、その演劇部門として、ユニット劇団（「劇団笠戸丸」）が2008年1月に誕生しました。この劇団名は、最初の移民船「笠戸丸」に因んで命名されたものです。その後、熊本の若い演劇人たちが次々と「劇団笠戸丸」に集い、「ブラジル移民」をテーマにしたオリジナル劇に取り組み、2008年4月29日、熊本市国際交流会館にて「ボクノフルサト。」公演を実現しました。その上演後、ありがたいことに遠くブラジルから見に来て頂いていた方々から「ブラジルで公演を」とのお誘いをいただいたのです。

このようにしてかつての移民船「笠戸丸」は、百一年目にして「劇団笠戸丸」に姿を変え、ブラジルの地で演劇公演を目指すこととなりました。

今公演のために集まった劇団笠戸丸の若いメンバーにとっては、ブラジル日系人の方々の文化的交流を図ることにより、未来に向け視野を大きく広げる機会でもあると考えます。

□

舞台では移民船「笠戸丸」の船上からコロニアを作るまでのドラマを、主に歌や踊りで繰り広げ、移民の父といわれる上塚周平氏を軸としたブラジルでの苦労や功績を表現します。

上塚周平氏は熊本県城南町出身であり、移住者の中にも熊本県出身の方が数多くいらっしゃいます。

演題の「ボクノフルサト。」は、百年という長い時間を遡ることによって移民団のルーツを表現しようと試みています。日本人とは何だったのだろうか。「血」と新たなコロニア日系社会を築き上げた「地」の問題まで含まれます。

お客様はほとんどの方が日系人であるため、台詞は日本語でおこないます。ナレーション（俳優による日記朗読）の一部にはポルトガル語を使用します。

□

この公演につきましては、「公益信託くまもと21ファンド」助成金、劇団員の自己負担金、賛同者各位様の寄付金によって賄われます。つきましては、上演の成功を図るために企業各社様、団体・個人様からの寄付を募っております。

寄付金の目標額は**3,000,000円**です。**舞台制作費、旅費の一部、宿泊滞在費用の一部に充てられます。何とぞご協力・応援くださいますよう宜しくお願い申し上げます。**

□

一口（個人）1,000円より／（団体）10,000円より

※同封の郵便振替用紙又は下記銀行までお振込みいただきますようお願い申し上げます。

【口座名】特定非営利活動法人 日本フェアトレード委員会

■肥後銀行 熊本駅前支店 ■普通口座 ■1493401

（注：ご寄付頂いた方につきましては、2009年3月に実施予定の「公演報告会」にて作成されますパンフレットにお名前を掲載致します。個人2口以上の方には公演DVDビデオをお渡し致します。）

【公演期日・会場】

平成21年（2009年）2月4日～19日（移動日などを含む。）

- 2/7 公演（1） 弓場農場 【テアトロ ユバ】
2/10 公演（2） プロミッソン市 【プロミッソン市立劇場】
2/13 公演（3） ピラール・ド・スール 【ピラール・ド・スール日本語学校】
2/15 公演（4） サンパウロ市 【日伯文協大講堂】

※サンパウロ公演の後にはサンパウロ市 熊本県人会館にて交流会を予定しております

【主催】

劇団笠戸丸 〒861-8066 熊本市清水亀井町 15-26-102 代表・山南純平

劇団夢棧敷 内 TEL/FAX 096-343-0334

【共催】

日本みどりの会 / 特定非営利活動法人 日本フェアトレード委員会 会長 清田和之

【ブラジル主催】

ニッケイ新聞 RUA DA GLORIA, 326 LIBERDADE CEP=01510-000 SAO PAULO-SP BRASIL

TEL 55- (011) 3208-3977

【後援】

熊本県 財団法人日伯協会(予定) 熊本移住者県人会(予定) マスコミ各社

【協力】

ブラジル・ニッポン移住者協会 ニッケイ新聞（サンパウロ本社・東京支局）

㈱アルファインテル南米交流

ユバ農場 プロミッソン市 ピラール・ド・スール文化体育協会 サンパウロ市熊本県人会館

熊本日伯協会 熊本市国際交流振興事業団

【出演者 スタッフ】

作◎田中瞳 構成演出◎山南純平／田中幸太

◎出演者◎

田中幸太（上塚周平役）／過眞嶋憲法（鈴木貞次郎役）／村上精一（香山六郎役）……………移民団のリーダー。

坂本咲希／田中瞳／山室優衣／石崎優香／東田真美／宮下遥……………移住者たち。家族。

卓草四郎／竹下晴仁／梅田真耶／山本真実／山南純平……………移住者たち。家族。

夢現／工藤慎平……………ブラジルから日本へ帰国した、現代に生きるお婆さんと青年。

※お婆さんの記憶（日記に書かれていること）を辿っていきます。

◎スタッフ◎

山南純平（照明）／馬場真治（音響）／西岡卓（舞台監督）／坂本冬馬（音楽）

坂本咲希（宣伝美術）／ニッケイ新聞（ポスターデザイン）／山本真実（ダンス振付）

過眞嶋憲法（制作・ユバ）／田中瞳・宮下遥（制作・プロミッソン）

田中幸太（制作・ピラール・ド・スール）／村上精一（制作・サンパウロ）

さかもとまり（制作）／清田和之（制作委員会各位）